

# 令和5年度政策予算案 市長説明

(令和5年6月8日記者発表)

令和5年第2回定例会に一般会計補正予算案として提出を予定しております政策予算がまとまりましたので、その概要をご説明いたします。



私は、このたびの統一地方選挙におきまして、市民の皆様への負託を受け、市政運営を担わせていただくこととなりました。

市長として、身が引き締まる思いと同時に、重責を実感しているところであり、市民の皆様にとって暮らしやすく、活力あるまちの実現に向け、全力で取り組んでまいります。

このたびの選挙におきましては、『つくろう 羽ばたく千歳の未来を』をキャッチフレーズに、「安全・安心・健やかに、活力にあふれ、快適に過ごせる、持続可能な千歳の未来の実現」と「空港開港100年の歴史を次の世代へつなぐ」を政策の基本に据え、これを実現するため、『政策の5つの柱』をお示しし、市民の皆様にご説明してまいりました。

1点目は、「安全・安心、健やかなまちづくり」であります。

2点目は、「人を育むまちづくり」であります。

3点目は、「活気あふれるまちづくり」であります。

4点目は、「快適に暮らせるまちづくり」であります。

最後に、5点目は、「まちを支える基盤づくり」であります。

今回の政策予算におきましては、これら私の目指すまちづくりの実現に向けた政策を中心に、“つくろう 羽ばたく千歳の未来予算」として、取りまとめを行ったところであります。

その結果、政策予算として、13億8,240万1千円を追加し、一般会計の総額を490億6,100万7千円としたところであります。

これは、前年度に比べ、20億9,660万6千円、4.5%の増であります。

また、6特別会計と3公営企業会計を加えた全会計の総額では、849億1,577万3千円、前年度に比べ6.3%の増として編成したところであります。

政策予算の中で特徴的な事業を、私の『政策の5つの柱』にそってご説明いたします。

まず、「安全・安心、健やかなまちづくり」であります。

主な事業として、

まず、「地域生活支援事業費」249万円であります。

地域生活支援事業として実施しております「日中一時支援事業」は、障がいを持つ方のご家族の負担を軽減するため、一時的に事業所で見守りなどの支援を行うものでありますが、入浴設備が整備されている事業所等におきまして、重度の障がいを持つ方が入浴サービスを受けることができるよう、新たに「入浴」と「重度障がい」の利用単価の加算を創設し、利用者の利便性の向上を図るものであります。

次に、「医療的ケア児支援事業費」111万2千円、新規事業であります。

医療的ケアが日常的に必要な子どもと、そのご家族を支援するため、医療的ケア児が利用する障害児通所支援事業所等に訪問看護ステーションの看護師を派遣し、医療的ケアを行うものであります。

次に、「災害対応ドローン整備事業費」611万3千円、新規事業であります。

災害活動の際に、ドローンを活用し、上空からの情報を収集することにより、災害活動方針に役立てるものであり、火災対応

のほか、山岳救助や水難事故など、幅広い災害活動での活用を予定しております。

次に、「支笏湖ゼロカーボンパーク推進事業費」

173万3千円、新規事業であります。

昨年3月に、支笏湖地区が「ゼロカーボンパーク」に登録されたことから、この理念に資する取組を地域に住む方々や事業者が、それぞれの立場で推進するため、支笏湖版の脱炭素シナリオ「支笏湖スタイル」の構築と普及啓発を行うものであります。

この支笏湖地域での取組は、今年度策定する本市の「地球温暖化対策実行計画」の「区域施策編」に取り込むこととしております。

次に、「千歳美々ワールド周辺環境影響調査事業費」

2,112万6千円、新規事業であります。

千歳美々ワールド地区周辺には、美々川など豊かな自然環境が広がっており、この地区に、ラピダス社が立地することに伴い、周辺環境への影響を把握するため、美々川と周辺の地下水の水質調査を実施するものであります。

このほか、「早期療育事業費」や「家庭ごみ適正排出啓発事業費」など、医療・福祉の充実や環境施策の推進、消防力の強化に関する事業などを計上しております。

次に、「人を育むまちづくり」であります。

まず、「産前・産後ケア事業」219万8千円であります。

産婦の身体的・心理的安定を図る支援体制を充実するため、「訪問型」の利用対象年齢を、これまでの「出産後4か月まで」としている期間を「出産後1年まで」に拡充するほか、「デイサービス型」の受け入れ回数を増加させるため、事業者の受入れ体制の強化を図るものであります。

次に、「妊婦歯科健康診査事業費」141万3千円、新規事業であります。

妊娠期は、ホルモンバランスの変化などにより、むし歯や歯周病になりやすく、重度の歯周病により早産や低体重児出産のリスクが高まることが報告されており、妊娠期の口腔ケアの重要性を踏まえ、妊婦の歯科健診の初回受診料を助成することにより、健診受診率の向上を図ろうとするものであります。

次に、「教育・保育施設使用済み おむつ処分推進事業費」  
1, 347万3千円、新規事業であります。

教育・保育施設等で生じる使用済み おむつを各施設内で処分  
できるよう、保管箱の購入費用や廃棄物の処理費用を支援するも  
のであります。

これにより、使用済み おむつの持ち帰りによる保護者や保育  
従事者の負担軽減を図るものであります。

次に、「小中学校 I C T 機器等整備事業費」  
1億3, 506万5千円であります。

市内小中学校では、現在、I C T を活用した学習活動を行って  
おりますが、学習者用コンピュータに対応したデジタルドリルを  
整備することにより、I C T 環境の更なる充実を図るものであり  
ます。

このほか、「新学校給食センター整備事業費」や「学童クラブ  
事業費」など、子育て支援や教育環境の整備・充実に関する事業  
を計上しております。

次に、「活気あふれるまちづくり」であります。

まず、「千歳美々ワールド整備関連」4,596万8千円、新規事業であります。

このたびの千歳美々ワールドへのラピダス社の工場立地に伴い、本市への半導体関連産業の集積に向けた企業ニーズ等の把握を行うとともに、様々な影響や効果を分析し、将来ビジョンの具体的な検討を進めるものであります。

さらに、美々南通など周辺道路と調整池の整備に先立ち、測量調査と実施設計を行うものであります。

次に、「中小企業対策支援事業費」170万円であります。

起業して間もない事業者の経済的負担を軽減し、事業の安定化を図る融資制度として、現状では、「新規開業支援資金」がありますが、この制度を活用する新規開業者を支援するため、今般、借入から1年間の利子補給を行う、新たな制度を創設するものであります。

次に、「地域特産品等 消費拡大促進事業費」122万円あります。

千歳の地場産品の振興や消費の拡大を図るイベントとして、「ちとせ産フェスタ」を開催するものであります。

次に、「2026ちとせ・空港開港100年記念事業費」

1, 245万円、新規事業であります。

空港が令和8年に開港100年を迎えるにあたり、空港を核としたまちの発展をさらに進めるため、空港とまちが育んできた歴史を未来へとつなぐ取組として、市民と一体となって、千歳の魅力を発信するため、各種記念事業を実施するものであります。

このほか、「外国人旅行者誘客事業費」や「経営継承・発展等支援事業費」など、ラピダス社の立地に伴う事業のほか、商業・観光・農業の振興、空港開港100年に関する事業を計上しております。

次に、「快適に暮らせるまちづくり」であります。

まず、「官民連携まちなか活性化推進事業費」

2, 722万4千円であります。

昨年度、新たに策定した「ちとせ未来ビジョン」の実現に向け、グリーンベルト周辺エリアの魅力を高め、民間投資を誘発する手法を検討するため、調査・分析等を行ってまいります。



次に、「道路・橋梁・公園等インフラ整備」  
9億2,946万7千円であります。

政策予算では、道路・橋梁・公園などに約9億3千万円を追加しておりますが、これを含んだ、今回追加する投資的経費の総額は、約12億円となっております。

この結果、骨格予算と合わせた令和5年度の投資的経費総額は、前年度に比べ、約4億7千万円、11.8%の増としたところであり、事業量の確保を図ったところでもあります。

次に、「GPS除雪情報システム整備事業費」1,489万円、新規事業であります。

GPSを活用し、除雪車両の位置情報をマップにより提供する「除雪情報の見える化」を継続するほか、除雪作業に係る市民からの問い合わせの一元管理や、日報の自動作成など、業務のデジタル化を推進するものであります。

このほか、「地域公共交通利用促進事業費」や「次世代エアモビリティ調査・普及啓発事業費」など、まちの魅力向上や都市基盤の整備等に関する事業を計上しております。

最後に、「まちを支える基盤づくり」であります。

まず、「公共施設Wi-Fi環境整備」649万4千円であります。

市民団体等によるICTを活用した会議や研修の実施等により、地域活動の活性化を促進するため、コミュニティセンターなどの公共施設にWi-Fi環境を整備するものであります。

コミセンのほか、東雲会館・末広会館、総合福祉センター、学童クラブにも整備を予定しております。

次に、「公共施設予約システム整備」634万6千円であります。

インターネット上でコミュニティセンターなど公共施設の空き状況の確認や予約が可能となる「公共施設予約システム」を導入するものであります。

コミセンのほか、総合福祉センターや学校体育館の開放事業にも整備を予定しております。

次に、「キャッシュレス決済対応レジ導入」1,673万2千円、新規事業であります。

窓口で税証明や住民票などを発行する際の手数料の支払いをキャッシュレスにすることで、市民の利便性の向上を図るものがあります。

市民課、税務課、会計課、向陽台支所の各窓口で導入します。

次に、「エカシ・フチ聞き取り事業費」110万円、新規事業であります。

千歳アイヌの「エカシ（長老）」、「フチ（老婆）」を取材し、昔から伝わる風習や言い伝え、出来事に関する話を聞き取り、取りまとめ、若手協会員を通して、次世代に伝承していこうという事業であります。

このほか、情報政策推進事業費など、DXやアイヌ施策の推進に関する事業を計上しております。

以上、特徴的な事業をご説明いたしましたが、

特に、このたびのラピダス社の美々ワールドへの立地は、本市の更なる発展が期待される、極めて大きな意義のある事業であると認識しておりますので、今後も、必要に応じて、補正予算により対応するなど、スピード感をもって取り組んでまいります。

最後に、今回の「政策予算の概要」であります。

政策予算の補正額の合計は、13億8,240万1千円、

事業数は、全部で85事業となっております。

このうち、新規事業は23事業、新たな取組として既存事業の中で実施するものを含めると、48事業となります。

また、今回の政策予算に計上した、私の公約に関する事業は56事業となっております。

この予算案につきましては、6月15日開会予定の第2回定例市議会に提案してまいりたいと考えております。

私からは以上であります。配付資料につきましては、担当の方から説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。